子育て"Learn&Talk"

福山大学心理学科とつくし保育園の保育士の先生による『子育て"Learn＆Talk"』を毎月 1 回実施しています。ママ，パパ，お子さん，大学生のお兄さん，お姉さん，みんなで世代間を超えて交流します。

6 月 13 日（土）は，**「カサぶくろロケットづくり」**でした。10 組の親子（お父さん 4 名，お母さん 8 名，子ども 16 名）が参加して下さりました。この日は大学 40 周年の特集として，中国新聞社さんに取材をしていただきました！

最初に絵本の読み聞かせ！

カサぶくろロケットの完成！

遠くまで飛んだロケットはだれのだ～？

何回も飛ばして遊んだよ！

おやつもおいしく食べました！

中国新聞 2015年（平成27年）6月25日（木曜日）

地域と大学 福山大40年 ③

地域参加

活気づくり 学生が一役

人、地域イベントで子ども にバルーンアート するケースが目立つと いう。今津町の島村発 明さん（72）は「学生が リアにも広がる。人間 文化学部心理学科の学 生の地域おこしグループ「プロジェクトM」 のメンバーと活動す れば するほど新しい発 見がある。今後も学生 発信の企画を増やした い」と意気込む。

この日は、同大の学 生広嶋萌恵さん（21） ソロン教室を開いたり している。リーダーの 過ぎても明かりがとも っていた。

福山大（福山市東村 町）の最寄り駅、JR 松永駅の北口にある駅 前通り。同大が空き店 舗を改装して2年前に 開いた地域 学習スペース「M学一（同市今津 町）は10日、午後5時を

清掃活動に参加したり 学外の活動は他のエ くりを後押しする「子 育てステーション」を 開いている。

13日は親子連れたち 10組が訪れた。学生ら 人が、運営 に協力してもらってい る「つくし保育園」（同 市木之庄町）の保育士 とともに、幼児がロケ ットを作るのを手伝っ たり、段ボールのおも ちゃで遊ぶのを見守っ たりした。

3年松田るみさん （20）は「子どもの成長 を見ることができ、発 達心理学などの勉強に なる」。学生をサポー トする同学科の皿谷陽 子助手（27）は「保護者 からの相談への対応も 充実させるなど、子育 てしやすい福山にする ため、今後も貢献して いきたい」と話す。

（六川圭）

福山駅近くに月1回開設する子育てステーションで、子どもにロケット作りを教える福山大の学生＝

取材された新聞記事。